

# 市民俳歌柳壇

毎月20日で締め切り、締め切り日の翌々月の広報うつのみやで入選作品を発表します。

特選

## 大きめの制服幼な入学児

幸町 渡邊 公之

●特選の選評 若き母親と手をつないで、かわいいうちの子が入学式会場に入ってきた。新品の小学1年生の制服はちよつと大きめサイズ。でも男の子は緊張した面持ちで指定された席に着いた。周りの1年生もみんな真面目に真剣な顔をして並んでいる。校長先生のにこやかな笑顔だけが特に印象的に思える入学式の風景が目に見えるように懐かしく感じる一句となった。

## 俳句



加茂都紀女先生

入選

夜廻りの鐘近づきて遠ざかる

西2丁目 佐藤 順子

ハンサムなだるま選びし初の市

平松本町 菊池 志津子

一白に山伏四人餅搗けり

さつき3丁目 伊藤 純夫

鶴きたり林檎の皮を厚く剥く

下岡本町 緒方 有

特選

## 穏やかに明けて閑かな元日の暮れぐれを揺る能登の大地震

清原台5丁目 北市 邦子

●特選の選評 穏やかな年明けの元日早々の能登半島地震。目を疑うような惨状が報道され、日本中が騒然となる。テレビ、新聞より触発されたであろうが、「暮れぐれを揺る」に立ち止まる。午後4時10分の薄暗さは、ぞっとする冷気を醸す。「揺る」に地震の揺れ、危うい心の揺れをも表出する。時事詠は今を即詠むこと。この作品も間髪入れず確と詠まれた一首である。

## 短歌



安野登美子先生

入選

うらうらと陽射し明るく変わりたるマロニエ並木冬芽総立つ

下岡本町 高尾 信尚

北風に枯れ葉飛ばされ行先は角を曲がった吹き溜りかな

花園町 小林 秀行

霜が敵皇帝ダリア攻められて一夜の内に凋落と化す

緑2丁目 片嶋 青水

白菜をくるりと包む新聞紙 酷いニュースを隠すかの如く

下栗町 大塚 榮子

特選

## 同じ金扱いようで裏表

若松原1丁目 菊地 巳代吉

●特選の選評 数千万円の金が収支に記載されないまま使途不明となり、使った者是不起訴になった。庶民は千円の使い道さえ覚えており、わずかな預金の百円の利子にも税金が課せられる。この理不尽を正さねば民意が問われる。次回の選挙には正しい選択をしたいものである。

## 川柳



佐藤隆久先生

入選

手枕で父うたた寝の涅槃像

平松本町 川野 和美

政界も阿部派揺れてる震度七

江曾島2丁目 坂本 節子

肥る沢盛れぬ料理は口に入れ

西川田本町4丁目 高松 幸子

LRT乗って故郷の自慢する

鶴田町 西宮 久

### 俳歌柳壇の応募方法

- 1人各3句(首)以内。俳句・短歌・川柳の併記は不可。
- 対象は市内在住者で、未発表作品。年齢問わず応募できます。
- はがき表面=住所・氏名・ふりがな・応募する壇名。
- はがき裏面=作品(漢字にはふりがなも)・作品への思い。
- 毎月20日までに、〒320-8540市役所広報広聴課☎(632)2028へ。
- WEBによる応募も受け付けます。詳しくは、市☎をご覧ください。

ID 1022877



▲市☎

表

〒320-8540  
住所・氏名・壇名

宇都宮市役所  
広報広聴課

裏

作品への思い  
作品への思い